

よみがえる文化財



吉備国際大助教授
小西 伸彦氏

美術品修復の現場から

使えば、変色した古い写真、デジタル化する。真を元に戻すことも、目撃つくり美人に変身させることもできます。デジタルは形成外科までやるのだから。

◆永遠のアーカイブ
アーカイブとは、公文書、公文書館、記録保存を意味します。テーマ集められた情報、または集めること、膨大なデータを小さく、家庭で聞くDの音が遅

27

デジタルで近づく芸術

も可能です。デジタルは、大原美術館の石橋のうまくつぎあはは実に便利な代物なのです。

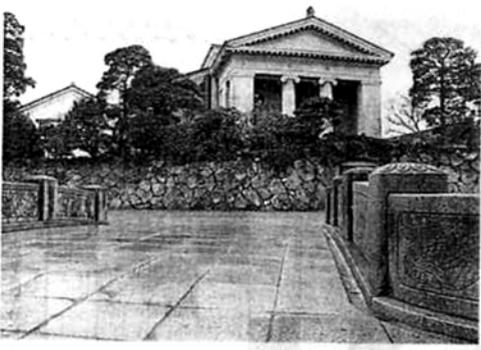
◆満足感には本物に重配
インターネットの普及に伴って、情報を公開する博物館は、平成13年の133館から1年で44館になりました(デジタルアーカイブ白書2005)。パソコンで大原美術館が所蔵するモノの「睡蓮」や関根正二の「信仰の悲しみ」を見て、作真みたいなのが、0と1の信号が正体のデジタルは秘密でクールですが、細やかな心のヒタを表現するデリカシーはまた持ち合わせてはいませ

きび 今月半 選んでいれてもらおう
はまで東 ヒーのみ、何十種も豆
京、大阪 にごたわりが見える、そ
の店のマスターが言いま
した、「コヒーには雑
味こそが必要なんだ。雑
味がないと、味を深さなく
す。これは何事にも
当てはまる
かもしれませ
ん。ただ真っ
すく歩かだけ
でなく、失敗や回り道を
しながら探まを繰り返す
こそ、自分こそありたい
し、それを一言に出いま
と考えています。よろし
くお願ひします。



茶店。メニューは、豆を
【石臼論】

デジタルという言葉は、すっかり生活の一部になりました。カメラの主役はフィルムからデジタルに代わり、地上デジタル放送の時代が来ます。毎日のように新しいデジタル家電が発売され、商品陳列化が進んでいます。赤い安全灯の下で、徐々に現れてくる映像に胸をときめかせた印刷紙の感動を知ることもなく、簡単に加工、保存、閲覧、配信できることも、フィルムは年々とも真を見ても再現することが変わります。レタッという画像処理技術が明でなくなりません。しか



手術失敗、失恋で幻想描く

関根正二「信仰の悲しみ」

大原美術館が所蔵する関根正二の「信仰の悲しみ」(1918年、重要文化財)は、「信仰の悲しみ」のモデルとなつたのは関根が恋した女性ですが、みんな妊婦のようなお腹をして描いています。関根は最初この「自画像」と共に「科倉牛牛畫に「愛した国士」と名づけたと失恋による神経衰弱から見られます。誰かからもらったキャンパスに木を描きながら、それをつぶしてこの絵を描いたのかも知れません。

中央の女性にだけ、関根が好きたったパミロイオンという赤い絵の具が使われています。関根には最愛の女性一人を愛する絵の具しか買つて金がかかったんだと東光が回想しています。

関根は福島白河の屋根ふき職人の家に生まれ、東京・木場に移り住みました。伊藤深水の紹介で勤めた印刷会社で洋画の洗孔を受け、河野通秀、村岡黒らと親交を結び、ドイツ・ル